

宇土市ファミサポ通信 No23

令和4年 8月発行

盛夏の候、皆様いかがお過ごしでしょうか？ 日頃より宇土市ファミリーサポートセンター事業にご理解、ご協力ありがとうございます。コロナウイルス感染の心配から3回目の夏を迎えます。少しずついろんな事が緩和され気持ち的に少しゆとりを持てるようになってきましたが、感染者が増加傾向にあり心配な状況です。一人一人、気を引き締め感染防止に努めましょう。そしてこれからも地域の子育て支援として、宇土市ファミリーサポートセンターの援助活動がより充実し、安心・安全に活動が出来ますようにご協力をよろしくお願いします。

事務局が児童センターの2階に移動して1年が経ちました。事務局の部屋は活動場所として使用しているため、季節感を感じる壁面や年齢別でのおもちゃの入れ替えなどの工夫をしています。最近では、『ファミサポの部屋』と親しまれるようになりました。さらに援助活動がより充実するように、新しいおもちゃも購入しました。購入後は時間が経つのを忘れるくらいに楽しく活動が行われています。協力会員さんも「新しいおもちゃで遊ぶ子ども達の笑顔に癒されて、活動が楽しいです」と生き生きとされています。

令和4年度も『ファミサポの部屋』での援助活動や保育園の送迎等が行われ、子育て中のお父さん・お母さん方に喜ばれています。その他にも健診時の広報活動や、子育て支援センターの情報のお知らせ、また子育て中の話や悩み事も聞いています。どうぞ一度『ファミサポの部屋』に遊びに来てください。活動がない日は会員以外の方でも子どもさんと一緒に遊ぶ事もできますよ。詳しくは宇土市子育て支援課（ファミリーサポートセンター）までお問い合わせください。



キリンスロープ



くるくるチャイム



アンパンマンカー



みつばちとはたらく車



6月の壁面



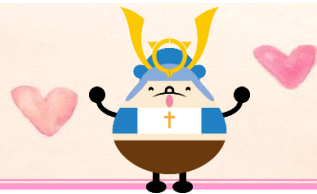
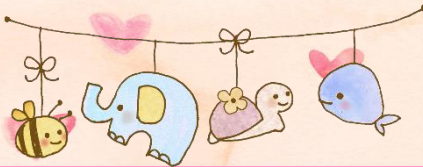
7月の壁面



8月の壁面



活動の紹介



昨年度、援助活動で可愛さを振りまいていた子ども達は4月に保育園や幼稚園に入園し、お母さん方も仕事復帰されています。令和4年度も4ヶ月が過ぎ、新規の活動がたくさん行われています。

今回紹介する活動も仕事復帰前の預かりです。A君は笑顔がとても可愛い10ヶ月の男の子で、協力会員さんは子育て中のベテランママです。つかまり立ちの時期のA君は、いろんな所につかまったり、ハイハイして動き回ったりと片時も目が離せません。協力会員さんは絶えず目を離さずにA君のペースに合わせて遊んで下さり、昼食は離乳食とミルクをあげ、抱っこしてお昼寝と、あっという間に3時間の活動が終了しました。今回が初めての活動でしたが、はやくも信頼関係が築けている事に驚きました。お迎えに来られたお母さんがその様子を見て一安心され、協力会員さんに感謝されていました。アドバイザーの私たちも活動の様子を見ているだけで癒され、温かい気持ちになった1日でした。



協力会員 募集



宇土市ファミリーサポートセンター事業は、年1回協力会員を募集しています。子育て中のお母さんのお手伝いをしたい方、地域のために何かしたいと思っている方、一度児童センター内の『ファミサポの部屋』に遊びに来ませんか？ 知らない子ども達を預かる事に不安や心配があると思いますが、ファミサポの部屋での援助活動の様子を見ると、『やってみようかなあ！』と気持ちになれるのではないでしょうか。子ども達の可愛い笑顔に癒されてください。（お問い合わせは子育て支援課 ファミリーサポートセンターまで）

下↓の写真は、昨年子育て中のママ達の手助けをしたいと養成講座を受講され協力会員になられた方の活動の様子です。ママと離れて泣いている子どもさんをおんぶしたり抱っこしたりして落ち着かせ、お迎えまでたくさん遊んで下さっています。ママ達に感謝されているありがたい協力会員さん達です。

